

【PDF】 CSVからPDFしおりの自動入力

作成者：北川 大祐

作成日：2022.04.01

キーワード：[#図面](#) [#計算書](#) [#PDFしおり](#) [#構造書籍](#) [#Python](#) #

PDFから栞のデータを取り出す+csvをもとに栞のデータを追加するソフト。
ファイル保管場所（サーバー）からフォルダ毎コピーして自分のPCで使用する。
図面リストなど大量のしおりを作成する必要があるとき活用する。
開発はPython。

exeファイルの保存場所

\\10.4.58.181\構造共有\07_個人フォルダ\北川\16_ソフト情報・Installer\220328_PDF
付箋情報取得+追加(Python)\220401_PDF栞toCsv

注)データのやりとりが多いので、サーバーから自分のPCに置き換えてから実行してほしい。

□ソフトにできること

①pdf->csv

pdfファイル選択（入力元データ）

pdf->csv選択

csvファイル選択（出力先）

②csv->pdf

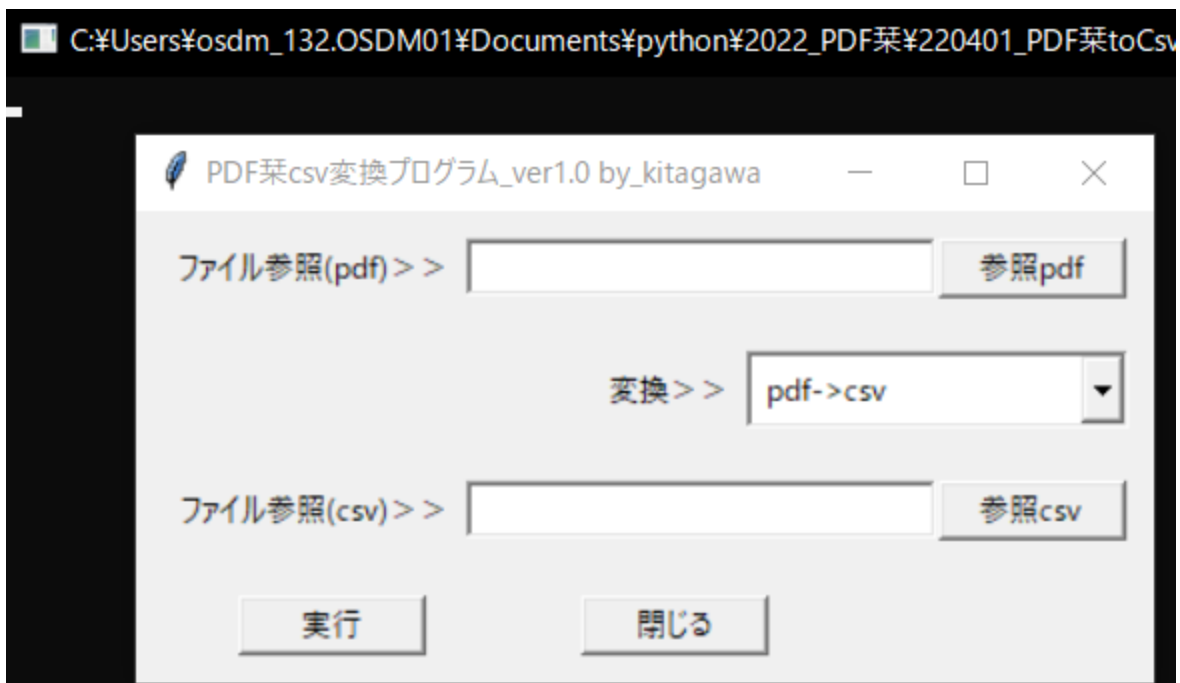
pdfファイル選択（付箋を追加したいデータ）

pdf->csv選択

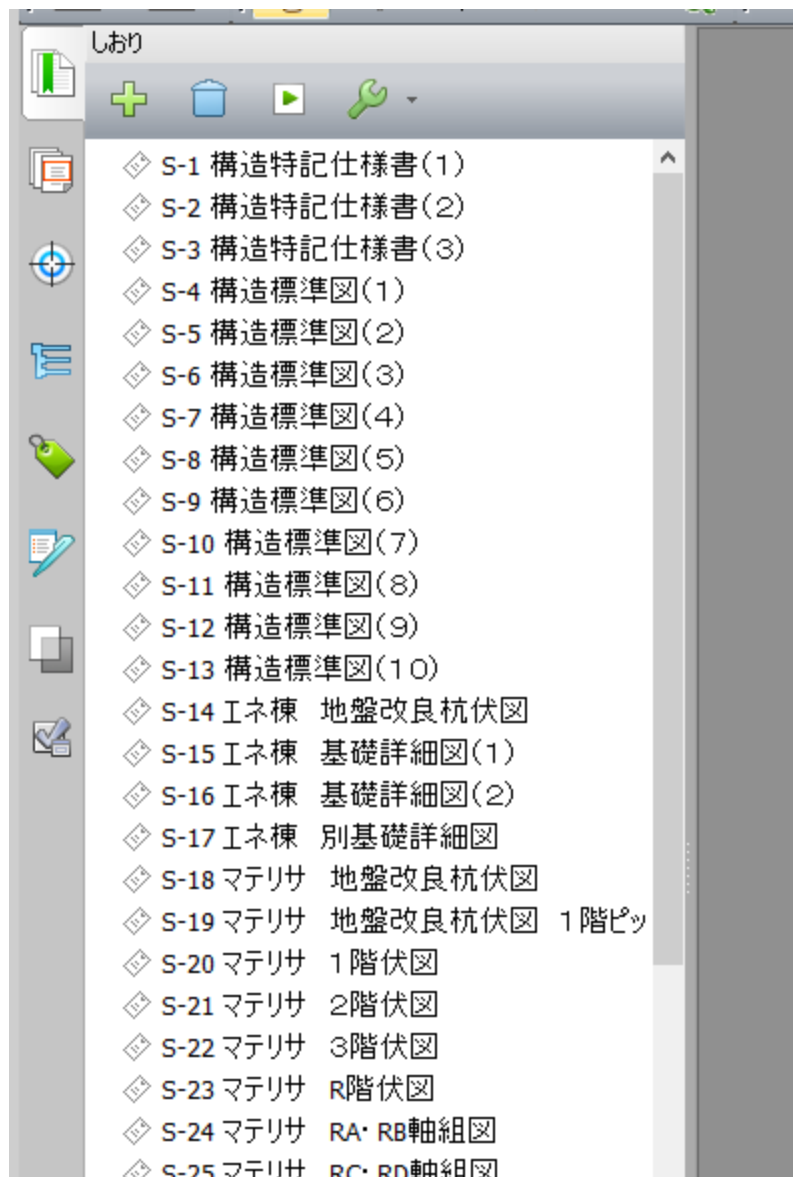
csvファイル選択（付箋データファイル）

result.pdf（出力先）

元pdfは書き換えないように結果はresult.pdfとして出力される。



上：GUIの画面



上：付箋の例

	A	B	C	D	E	F
1	1	S-1 構造特	1		構造特記仕様書（1）	
2	1	S-2 構造特	2		構造特記仕様書（2）	
3	1	S-3 構造特	3		構造特記仕様書（3）	
4	1	S-4 構造標	4		構造標準図（1）	
5	1	S-5 構造標	5		構造標準図（2）	
6	1	S-6 構造標	6		構造標準図（3）	
7	1	S-7 構造標	7		構造標準図（4）	
8	1	S-8 構造標	8		構造標準図（5）	
9	1	S-9 構造標	9		構造標準図（6）	
10	1	S-10 構造標	10		構造標準図（7）	

#toc.csv（付箋データファイル）について

A列：付箋の階層

B列：付箋の名前

C列：付箋の対応ページ番号

D列以降はメモ。01.を動かすと強制的に消える。

メモを追加するときはコピーしてから使うように。

（以下参考）

葉の手間 有料VBAソフト

<http://mamimo.g1.xrea.com/soft/pdf/download.html>

上のようにVBAで作成するとリストと付箋の対応が楽になりそうだが、
VBAで作成は時間がかかるのでPythonで作成した。